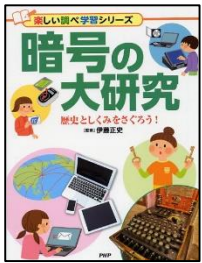


『暗号の大研究』 監修/伊藤正史 PHP
わたしたちのくらしは、目に見えない暗号によって守られています。パソコンやスマートフォンで情報をやりとりするとき、その情報をほかの人にぬすまれないように暗号の技術が使われています。暗号の世界をのぞいてみませんか。



『みんなが知りたい! 「世界のふしぎ」がわかる本』
著/カルチャーランド メイツ出版
ピサの斜塔はどうして傾いているの? 世界中にある不思議な建物や遺跡, 世界の七不思議まで, 世界中の「ふしぎなもの」の秘密に迫ります。



『学習まんが 日本の歴史 試験に役立つ! 超重要テーマ11』
監修/野島博之 集英社
日本の歴史のなかから大切なテーマを11選んでわかりやすく説明しています。まんがだから読みやすいですよ。これを読めば、歴史のテストはばっちり!?



『島秀雄 新幹線をつくった男』
監修/小野田滋 KADOKAWA
幼いころから工学に興味を持ち、もう勉強ののちに鉄道技師となった島秀雄はやがて、鉄道の新しい歴史をつくる新幹線を完成させます。「夢の超特急」ひかり号誕生のお話です。



『和服がわかる本』
編/こどもくらぶ 岩崎書店
みなさんは、お正月に着物を着たことがありますか? 「和服」=「着物」は昔の服ではなく、今でもさまざまな場面で着用されています。日本の伝統文化と深いかかわりのある「和服」について学んでみましょう。



下京図書館だより

2018 秋

5年生
6年生

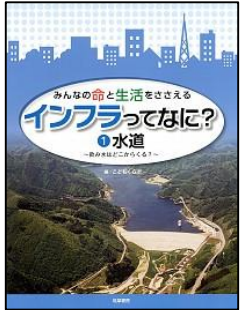
『みんなが知りたい! 日本の「絶滅危惧」動物がわかる本』
監修/今泉忠明 メイツ出版
ツシマヤマネコやオオサンショウウオなど、絶滅危惧種に定められている動物たちは、どうして数が減ったのでしょうか。守るために、わたしたちができることはなに?



『生き物の体のしくみに学ぶテクノロジー』
監修/石田秀輝 PHP
地球の環境が変化する中で、生き物たちはそれぞれの環境に合わせて進化し生きのびてきました。そのための知恵は、おどろくばかりです。生き物たちのすごいくふうをみてみましょう。



『みんなの命と生活をささえるインフラってなに? ①水道』
編/こどもくらぶ 筑摩書房
わたしたちの命と生活をささえている設備や施設のことを「インフラ」といいます。「インフラ」の1つである水道について解説しています。



すっかりすずしくなって、すごしやすい季節になりましたね。みんな、かぜをひいたりしていないかな? あたかいかココアやお茶を飲みながら、おうちでゆっくり本を読むのも楽しいですよ。わくわく、ときどき、ものしりになれる本までいろいろあります。読書の秋、図書館ですてきな本に出会えますように☆

『伝統工芸のきほん5 和紙と文具』
理論社
いつも使っているノートの紙と、昔から日本で作られている和紙はどうちがうのでしょうか? 日本を代表する伝統工芸品「和紙」の特徴や種類がよくわかります。



『算数の天才なのに
計算ができない男の子のはなし
算数障害って知ってますか？』

文/バーバラ・エシャム 岩崎書店
ぼくは計算ができない。ゆっくりやれば得意なのに「はやく解いたほうが勝ち」って言われると、どんなに簡単な問題も



解けないんだ。算数のせいで自信をなくしていたマックス。先生の一言で彼の人生が大きく変わる。

『サキサキ オノマトペの短歌
めくってびっくり短歌絵本』

編/穂村弘 絵/高島那生 岩崎書店



八百屋さんには白菜がうっふんうっふん並び、「時」はじいんじいんと過ぎていく。毎日見ている景色も、言葉のプロにかかれば不思議な世界。三十一字のなかに詰め込まれたきらめく宇宙を感じてください。

『ぐるぐるの図書室』

著/工藤純子ほか 講談社

「〇〇な人は、放課後、図書室に来てください。」家に帰りたくない、夢を叶えたい……ほかの人には見えない不思議な茜色のはり紙を見つけたら、図書室へどうぞ。これはきっと、あなたのことが書かれた物語。



『オレンジ色の不思議』

作/斉藤洋 絵/森田みちよ 静山社

子ども向けの物語を書いている「おじさん」は、ある日謎めいた美少女と出会う。小学生なのに妙に大人びてつかみどころのない彼女と一緒にいると、奇妙なものが見えてきて……。街にひそむ不思議なものたちの世界へようこそ。



『わたしの苦手なあの子』

作/朝比奈容子 絵/酒井以 ポプラ社

ミヒロはちょっと地味な小学生。「克服したい苦手なもの」という夏休みの宿題に、ツンとすました転校生「本間リサ」の名前を書いたミヒロは、リサと仲良くなろうとする。でもリサにはみんなに隠している秘密があって……きらきらした心のふれあいの物語。



5年生
6年生



『マーク・トウェイン ショートセレクション
百万ポンド紙幣』

作/マーク・トウェイン 絵/ヨシタケシンスケ 理論社

貧乏な「ぼく」はある日ふたりの大金持ちの賭けの対象となり100万ポンド(240億円)の紙幣を預かる。さて、これをどう使おうか？『トム・ソーヤの冒険』の作者が書いた茶目っ気あふれる短編を集めた本。



『ステップファザー・ステップ』

作/宮部みゆき 絵/千野えなが 講談社

雷の日、うちの屋根から泥棒が落ちてきた!? その泥棒を新しい「お父さん」と決めた双子の少年たち。はじめはイヤイヤ父親がわりをしていたはずが、不思議な事件を三人で解決するうち近づく心。奇妙でめちゃくちゃで法律無視だけれど、あたたかい「家族」の物語。



『十一月の扉』 作/高樓方子 リブリオ出版

中学生の爽子は家族の転勤のため、木立に囲まれた赤茶色の屋根の白い家「十一月荘」で下宿生活を始めることに。家族とのケンカ、将来への期待と不安。大人への通り道に胸ときめかす思春期のみずみずしいひとときと、爽子の書く童話とが交互に描かれます。



『十五少年漂流記』

作/ジュール・ベルヌ 絵/けーしん KADOKAWA

年齢も性格もばらばらの11人の少年たち。嵐のせいで流れ着いたのは無人島。みんなでサバイバル生活を送ることになったけれど、なかなかうまくいなくて……？ わくわくするスリルがいっぱいの物語。みんなも12人目の仲間になって、一緒に冒険しよう！



『正しい魔法のつくりかた』

著/アンナ・テイル 早川書房

父さんとふたり、楽しいクリスマスのはずが、突然ひとりで旅に出ることになった。間違えて降りた駅で自転車を借りたら、なぜか勝手に動き出した！ しかも突っ込んだのは、魔法の集会!? いったいここはなんなんだ？ 見習い魔女とぼくのにぎやかなクリスマスが始まる！



下京図書館

〈場所〉
下京区の新町通と松原通が交わるころを南に少し行っってね。
修徳公園の東側にあります！

〈あいている時間〉
月・水～金曜日
午前9時半～午後7時半
土・日曜日・祝日
午前9時半～午後5時
(火曜日はおやすみ！)



